

こども環境学習講座
エコっこスクール 2013 「森林・里山体験 in 森の駅」

★日 時 平成25年11月 2日(土) 8:40~16:15
★場 所 山口県セミナーパーク、森の駅
★参加者 21人(小学4~6年生)

1. スケジュール

8:40~ 9:00	開講式
9:55~11:50	森の駅 ピザ生地づくり、ピザトッピング 薪炊きごはん体験、おむすびづくり、薪割り体験
11:50~13:00	昼食、片付け、休憩
13:00~14:15	森の手入れ体験(雑木林の下刈りほか)、木工工作の材料集め
14:15~14:50	木工工作体験
14:50~15:10	片付け
16:00~16:10	アンケート記入
16:10~16:15	閉講式、解散

2. 講師

森の駅 園田 秀一郎氏

3. 活動内容

【ピザづくり体験】

森の駅の園田氏に作り方の説明を聞いた後、早速ピザ生地づくりを始めました。

材料(強力粉、薄力粉、ドライイースト、少量の砂糖、ぬるま湯)をこね、さらにオリーブオイルを加えてこねた後、1時間発酵させました。

発酵させた生地を人数分に分けて薄く伸ばし専用の皿にのせ、トマトソース、具(玉ねぎ、シイタケ、ピーマン、ベーコン、ウィンナー)、チーズをトッピングして、石窯で焼きました。



【薪割り体験】

ピザ生地を発酵させる間に、薪割り体験を行いました。

説明の後、斧をにぎって膝を曲げながら振り下ろす動作を練習して、1人ずつ薪割りをしました。園田氏の補助のもと、子ども達は怪我なく行うことができました。

薪用の木材は、割りやすいように丈が短めのを事前に準備いただきましたが、それでもうまく割れず、なかなか大変な作業でした。



【薪炊きごはん体験】

大人数では体験できないため、代表して女子5名が体験しました。

新聞紙やスギの葉をかまどに入れて火をつけ、薪をくべて釜でごはんを炊きました。火吹竹で空気を吹きつけたり薪をくべたりと、交替して火を保ちながら炊きました。

炊きあがったごはんは白飯と鮭ふりかけ入りの2種類のおむすびを各自でつくりました。



【森の手入れ体験】

森の駅奥の山で森の手入れ体験を行いました。

途中、人工林と雑木林を見比べながら、それぞれの違いや役割について学習しました。建築材料となるスギやヒノキなどが植林された人工林は、1種類の樹木だけで構成され密集していることが多く、日光があまり届かないため下草が少なく保水力も小さいそうです。これに対して雑木林は、いろいろな種類の樹木で構成されていて、日光も当たり下草が生えていて保水力もあります。下草はシカなどの動物のえさになり、落葉樹の葉は落ちて分解され腐葉土になることで土が肥える、ミミズは鳥のえさになるといった豊かな生態系があるそうです。



のこぎりを使って、雑木林の枝を払う作業を行いました。枝を切るときは先の下から切れ目を入れて上から切ることで、樹皮が剥がれるのを防ぐことを教わりました。子ども達の頭が当たる位の高さまでの枝を切り、切った枝は協力して1カ所に集めました。

作業後、枝を払った場所は日光が当たり明るくなりました。枝が伸びて暗くなる前に枝を払ったり木を切ったりすることで、日光が当たる明るい山になります。雑木は切っても株から新芽が出て山が更新するので、切った方が喜ぶと教わりました。

森の中を歩きながら自生したワサビの葉や茎、野イチゴを味わったり、栽培しているキクラゲやシイタケ以外にカワラダケなどの自生したキノコを見つけたりすることができました。

木工工作で使用するドングリや木の実、枝、落ち葉などを採集して戻りました。

【木工工作体験】

森の駅の木工所で、木工工作体験を行いました。

採集してきた材料と準備された材料（いろいろなサイズの小枝や枝を切ったもの等）でホットボンドやペンチ等を使用して作成しました。

1人1作品と決め、材料の選定や加工、油性ペンでの色づけなどを自由に行ったため、動物や鳥など多種多様な作品ができあがりました。



4. まとめ・感想

22名の参加申込があり、当日は21名の子どもが参加しましたが、1日を通して天気が良く過ごしやすい気温で、子ども達は楽しく活動できました。

今回は、森の駅のフィールドや施設を活用した体験活動を行うことを主にしていて、中でもピザづ

くり体験を楽しみにしていた子どもが多く、楽しんで活動することができました。また、薪割り体験や森の手入れ体験では、斧やのこぎりを初めて使う子どもが多かったが、園田氏の指導のもと怪我することなく行うことができました。木工工作体験では、「何をつくったらいいか分からない」と困っていた子どもも、見本を元に作業を進めるうちにオリジナルの作品をつくることができました。